

第1回 新しい交通システム検討委員会 会議録

日時 平成28年5月31日(火)13時~15時

場所 金沢市庁舎7階 第4委員会室

開会

市長あいさつ

昨年3月に北陸新幹線が開業し、金沢港も日本海側の拠点港に指定された。また、東海北陸自動車道がつながり、能登有料も里山海道として無料化、山側環状、海側環状も順調に整備が進んでいる。小松空港は国内のみならず国際便も就航しアクセスが充実してきている。このように、空、陸、海の交通環境が劇的に変わってきたこの10年である。特に、山側環状が開通し、県庁が駅西に移転したなか、市内交通のあり方を今一度考えていく時期に来ている。今日は金沢のまちなかの交通について、とりわけ新しい交通システムについてどうあるべきかどのような議論をしていくかについて、専門の方にお越し頂いた。議論を踏まえて1つの方向性が見えてくれば嬉しく思う。専門家の視点からご助言を頂き方向性を頂ければ幸いである。

委員長指名

委員長挨拶

新しい交通システムについて具体的にどのようなシステムが良いか検討が始まったのが昭和59年頃かと記憶している。その後、県市が協力し交通実験を行い、片町~香林坊間を半日トランジットモール化し、実験自体は成功したが、その後棚上げになっている状況である。先ほど市長挨拶にもあったとおり、そろそろ新しい交通システムの宿題を出す時期に来たと思っている。それぞれ専門家の方にお集まり頂いたので、忌憚のない意見を出して頂いて、まとめて行ければと思う。もちろん1つに決まれば望ましいが、複数案もあり得る。市民県民に提示して意見集約しながらまとめていきたい。

非公開に関する承認

A委員

ルートの選定となると利害関係の複雑な問題があり、また、数値が独り歩きしてしまう危険もあるため、議事3については非公開にした方がよいのではないか。

委員長

A委員よりご意見ありましたように、議事3については非公開とさせていただきます。

議事 1 , 2 : これまでの検討経緯、新しい交通システム導入の目的 (公開)

事務局より説明

B 委員

今回委員会に求められている事項がルートと機種を選定ということだが、新交通については過去検討された経過についてはさっと見た上で議論をしていく必要があるのではないかと。過去の財産は上手く活用して議論していければと感じている。

A 委員

40 年以上という長い間検討されてきている中で、課題が解決されてきている部分も出てきていると思う。過去どういう対策が実施され、解決できた課題、できていない課題を明らかにした上で、どういう課題を新交通にあたって解決していくのかを議論していく必要がある。

C 委員

平成 11 ~ 14 年に県市調査をやっており、課題も明らかになっているところである。環状道路の整備、まちなかの交差点改良も進めており、自転車交通環境についても市も一生懸命に取り組んでいる。その点はしっかり出して頂ければと思う。

委員長

過去の検討当時から、まちなかの環境は変化している。新幹線を契機として、公共交通の重要性も増している。

議事 3 : 導入機種及びルートの検討 (非公開)

都市政策局長あいさつ

閉会
